

五三

大正四年六月

之井物産株式会社汽船小丸
船負取國ニ関スル件

外務省

公領第八九號

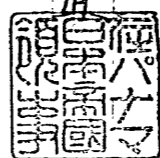
大正八年六月十六日 第二課

受18443號

大正八年四月二十八日

在パナマ

領事代理今井忠直



外務大臣子爵野田清成殿

三井物産株式会社汽船部 山丸船員
船員ニ関スル件
大正八年六月十九日 第二課

米國提供船三井物産株式会社所屬山丸船員ノ
途中本年二月二十八日コロンビニア港ニ入港シタルガ其船員ニ
多數ノ「インフリューエンス」患者ヲ發生シ何レモ当地
病院ニ入院セシメタル為メ今船ハ二週間餘「コロン」港
ニ碇泊スルノ已カラ得サル場合ト相成リ矣此等
船員件

無線電信技手 吉田大丈

水丈 林田熊彦

今 酒井市三郎

三名ヲ除キ其他ハ碇泊中全治シタルヲ以テ右
三名ハ当館監督ノ下ニ病院ニ移シ今船ハ三月
十六日出帆船員ノ途ニ就キ矣然ルニ其後又右
三名共全治致美ニ付本島当地出帆ノ紀洋丸ニ
乗船船員ニシテコロンビニア港ニ碇泊シ入院費用
及船賃等ハ多ク分米國政府ニ於テ負担スル義ト
被存美得共ニ等ノコトハ一切当地ニ於ケル米國汽
船会社代理店 Panama Agencies Co.ニ任スルコト



致美尚全創山丸出帆ノ際船長藤咲清磨ハ右
 三名ノ諸雜費トシテ未代志百奉也也當代ニ依託
 致美尚全丸ノ通り知分シ別紙候儀込五通茲ニ
 添付致置矣条神戶市海山通三井物産船船
 都宛右ノ趣傳達相成矣様致度比段情儀
 頼房々申進候 敬具

記

一、米代 貳拾五奉也

林田水丈 三月向宿泊料

一、吉奉 拾仙也

三人分荷物コトヨリバナマニ運送

一、女拾仙也

全上停車場ヨリ候事候マテ運使

一、拾五奉也

吉田校午ハ三替金

一、五拾八奉 貳拾仙也

林田及酒井兩水丈候園小使錢トシテ

計米代 貳百奉也

在バナヤ日本領事館

0202

3-2021

第1411号
第10号

文書課長

大正八年六月十七日

海防部 庶務課

大正八年六月十七日 起草
同日 附

別紙

七

送第 四〇六号

大正八年六月十八日 發送主任

主管通商局長

田中道商局長

若宮管船局長宛

三井物産株式会社汽船部山丸

船員帰国ニ関スル件

大正八年六月十七日 三井物産株式会社 庶務課

本件ニ関シ今般在ニハナシ今井領事代理

外 務 省

ヨリ米田提供船員物産株式会社所属南
 山丸帰航ノ途次船員中多数ノインフルエンザに患
 者発生シ就中重症者ニ對シテハ同船長兼
 味清磨ヨリ願出ノ次第アリタル依リ監督官
 取計タル趣ヲ以テ別紙第一通申越ル事有由
 右ノ如ク知リ上神戸市海岸通ニ井物産
 船舶部ニ傳達方可然此取計相成度
 取段申越ル也

別紙附年日附在ハナニ并領事ハ理兼信
公領并八九号出及月信附屬領收証
五通添附(但し領收証ハ其ハ行)

外務省

第 第
項 項
第 第

第19755號

大正八年六月廿七日接獲 第二課

大正八年六月廿六日

外務省通商局長殿

拜啓益々御清穆奉賀候

六月十八日附遞信省管船局長宛貴狀寫拜見仕候弊社米國提供船劍山丸去ル二月廿八日「コロ」入港ノ砌乗組員中發病者多ク數日ノ滯船止ムナキニ至リ候際同地領事館御一統ノ御懇切ナル御配慮ヲ忝フシ幸ニ事ナキヲ得且重患者三名同地ニテ下船入院致候ニ付テハ色々御世話被成下候段奉深謝候就而ハ右三名入院料弊方負擔ト相成候ハバ何時ニテモ御納入可致候間御一報被下度候
尙御便宜モ有之候ハ、今井領事代理殿へ宜敷御鳳聲被下度願上候
先ハ不取敢御禮迄申上度如此ニ御座候

三井物産株式會社

船舶部長

印

大正八年六月廿八日記錄第三部接獲

神戸

三井物産株式會社船舶部

勿々